2020 年 1 月 24 日

長野県感染対策研究会
代表世話人　本田孝行
長野県臨床検査技師会　感染対策委員会
担当者　　征矢佳輔

信州インフェクションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2019 年 12 月データについての報告～

（データ集計日：2019 年 1 月 24 日　　集計対象施設数：61 施設）

2019 年 12 月の VRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

＜MRSA の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 7.56 %でした。JANIS での全国の分離率は 6.49%（2019 年 4 月～6 月四半期報）であり、全国に比較しやや分離率が高い状況です。11 月に比べ北信地区では低下傾向、東信・中信地区では増加傾向が認められており、特に東信地区では 8 月以降増加傾向が続いています。

＜多剤耐性緑膿菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は 0.02 %でした。JANIS での全国の分離率は 0.04%（2019 年 4 月～6 月四半期報）であり、全国に比較しやや分離率が低い状況です。前月とは別施設ですが、東信地域で引き続き 1 株検出されています。なお、1 例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

＜第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について＞

長野県全体の分離率は3.41%でした。11月に比べ南信地区で大幅な増加が認められています。JANISでの全国の分離率は3.32 %（2019年 4月～6月四半期報）でした。JANIS で2015年集計分より用いられている第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

【SICSS のデータを用いた学術活動について】

SICSS のデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先
信州大学医学部附属病院 臨床検査部　　堀内　一樹
TEL; 0263-37-3493、 e-mail; hori9000@shinshu-u.ac.jp